

入院診療計画書

人工股関節全置換術(右・左)を受けられる ()様へ

薬剤師

2 部 印刷

1 部: 患者ファイル

1 部: 患者様用

病名

年齢

生年月日:

リハビリ担当

主治医

受持看護師

病棟

担当管理栄養士

手術日時 平成 年 月 日 AM・PM 時 分

病日	入院日～手術前日	手術当日 (術前)	(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	術後14日目	退院日(術後18日目)
日付	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()	/ / ()
目標	安心して手術を受けることができる 手術の方法・目的が理解できる	心身ともに安定した状態で 手術を受けることができる	痛い時や調子の悪い時などに訴える ことができる	痛い時や調子の悪い時などに訴える ことができる	痛い時や調子の悪い時などに訴える ことができる	痛い時や調子の悪い時などに訴える ことができる	歩行器歩行ができる 退院後の生活について理解することができる	杖歩行ができる			
食事	手術前日の午後9時までは、常食です 必要時特別食となります (水分は麻酔科医から説明があります)	食べることができません 	飲んだり食べたり できません 	水分は自由です おなかの動きがよければ、流動食より開始し、徐々にもとの食事に戻します							
安静度	自由です 	ベッドの上で安 静にします 寝返りはできません	ベッドを90度上げるこ とができます	ベッドの端へ足を垂らして座ることが できます 血抜きの管が抜ければ、車椅子に乗 ることができます (手術した足には、痛みのない範囲で 体重をかけてもかまいません)							
清潔	シャワー浴をすることができます 	シャワー浴をすることが できます 義歯・指輪・ヘアピンはは ずして下さい		毎日体を拭きます 						抜糸後、きずの状態がよければ、シャ ワー浴をすることができます(1度目 のシャワー浴は必ず看護師が介 護させていただきます) 	
排泄	手術2日前に下剤を飲みます 		尿管が入っています ベッドの上での排泄となります	車椅子に乗れるようになれば、尿管 を抜きます (必要時ポータブルトイレ・尿器を 使用します) 						自由にトイレに行くことができます	
検査	医師の指示により検査があります		血液検査と胸部・手術部のX線 撮影をします 	血液検査があ ります 	血液検査があ ります 					定期的または必要時、血液検査や X線撮影をします 	
治療	手術前日の夜には胃薬を内服して いただく場合があります 持参薬は特に指示がなければ続け て飲んでください ※抗凝固剤(パナルジン・パファリン・ バイアスピリン・ワーファリン・プラ ビックス・プレタルなど)を内服し ている方は中止してください	点滴をします 胃薬を内服していただく ことがあります 抗生剤の点滴をします	点滴をします 抗生剤の点滴をします 背中に痛み止めの薬を入れる管が 入る場合があります→ 医師の指 示で背中中の管を抜きます 酸素吸入をします→ 酸素の状態 が落ち着いていけば酸素吸入は 終了します きずの消毒があります きずに血抜きの管が入ります→ → 排液量が少なくなれば抜 きます(術後2日目頃) 飲水・食事が開始となれば飲み 薬を再開します(抗凝固剤の内服 は医師の指示が出れば再開し ます)							手術後12日目頃に抜糸とな ります 	
リハビリ	理学療法士から挨拶・説明があ ります		ベッドの上でのリハビリが始ま ります 機械で股関節を運動させるリハ ビリをします (少しずつ曲げる角度を上げてい きます)	病棟で車椅子への移乗訓練や平 行棒 内の歩行訓練を行います						リハビリ室や平行棒内で歩行訓 練を行います (歩行器やT字杖を使った歩行 訓練も徐々に始めていきます) 	
処置	股関節装具の採寸をします	毛剃り・爪切りをします 消毒薬で足全体を消毒 して足をシーツで包みま す	※肺血栓・塞栓 予防のため弾性 ストッキングをは きます	医師の指示により、手術部位の 安静のため、足をおもりで引 っ張りします(介達 牽引)						主治医の許可があれば、弾性 ストッキングを除去しても かまいません	
説明 指導	麻酔科医が麻酔について説明し ます お薬などのアレルギー歴がある 場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について 説明します(看護師はパンフレット を使用し説明します) 薬剤師がお薬について説明し ます 同意書は手術当日ま でに詰所にお渡し ください 	手術中、家族の方は病 室またはデイルーム でお待ち下さい	痛みがある時は、遠慮なく看護 師に申し出てください 必要時、痛み止めを使いま す 手術後はベッドの上で三角枕 をはさんで足を開いた状態を 保ちます 手術後、主治医から手術説 明があります 	三角枕 	※手術前にお渡しするパンフレ ットを参考に、してはい けない姿勢を十分理解してリ ハビリをがんばりましょう わからないことがあれば主 治医、看護師、理学療法士 までご相談ください 					薬剤師がお薬について説明 します 2週目に主治医が経過の説明 をします 感染徴候がなくX線撮影で 異常がなければ退院または 転院となります 	

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください。 ※ 特別な栄養管理の必要性

有
 無

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

◇総合的な機能評価◇

評価対象外

- ・日常生活動作 問題なし 要経過観察
- ・認知機能 問題なし 要経過観察
- ・意欲 問題なし 要経過観察

患者 又は 親権者・親族等サイン

(続柄)